

攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業
研究成果発表会（獣害被害防止技術） 開催要領

近年、中山間地域等を中心に、イノシシ、シカ、サル等による農業被害が深刻化しており、これらの野生獣類による被害が営農意欲の減退や耕作放棄地の増加、森林に自生する植物への食害等農山漁村に深刻な影響を与えています。

このため、被害防止活動の一層の強化が必要となっておりますが、農業従事者や狩猟従事者の高齢化に伴い、省力的かつ効率的な獣害被害防止技術の確立が求められています。

このような中、平成26年度から全国の民間企業や大学、国や都道府県の研究所等が総力を結集し、大規模実証研究「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業（革新的技術実証事業）」が実施されており、獣害被害防止技術についても、この東海地方を中心に省力化や効率化等を実現する革新的な技術体系の確立が進められており、実証地では侵入防止柵や集落ぐるみの追い払いと開発したシステムの組合せにより、農作物被害が大幅に減るなど、既に大きな成果を得ています。

今回、本事業において開発された獣害被害防止技術を、現場に幅広く普及することを目的に、本事業による開発・実証の状況や研究成果を広くご紹介するため、下記のとおり成果発表会を開催します。

記

- 1 開催日時
平成27年12月7日（月）13：00～17：30
- 2 開催場所
ウイंकあいち 5階 小ホール2
（愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38）
- 3 内容
 - (1) 研究成果発表（13：00～16：30）
 - ① ICTを用いたシカ、イノシシ、サルの防除、捕獲、処理一貫体系技術の実証（研究代表機関：三重県農業研究所）
 - ・プロジェクトの概要（三重県農業研究所）
 - ・クラウド型の檻監視・操作装置（クラウド型まるみえホカクン）の開発（鳥羽商船高等専門学校）
 - ・効率的な捕獲後処理技術・機器の開発（長崎県農林部）
 - ・地域での総合的な実証とその成果（三重県農業研究所）
 - ② ローカライズドマネジメントによる低コストシカ管理システムの開発（研究代表機関：国立研究開発法人森林総合研究所）
 - ・プロジェクトの概要（森林総合研究所）
 - ・低コスト個体数推定技術の開発（愛知県森林・林業技術センター）
 - ・狙撃技術の開発（NPO法人若葉）
 - ・日本型ローカライズドマネジメントの必要性（森林総合研究所）
 - ③ その他
 - (2) 製品展示（12：00～17：30）
事業で開発した機器等を展示
 - (3) 相談コーナー（16：30～17：30）
発表内容等に関する質問や相談を受け付けます。
- 5 参集範囲
都道府県（試験研究・普及・行政）、市町村（鳥獣被害対策実施隊）、農業団体、報道機関等

6 定員

200名

7 参加申込み

参加を希望される方は、別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、三重県農業研究所 (nougi@pref.mie.jp) へ平成27年11月24日(火) 17時(厳守)までにメールで申込み願います。

※ メールタイトルの『「成果発表会」参加』として下さい。

8 主催・共催

主催：ICTによる獣害防除コンソーシアム（代表：三重県農業研究所）

シカ管理システム共同研究機関（代表：国立研究開発法人森林総合研究所）

東海農政局

共催：特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

国立研究開発法人農研機構生物系特定産業技術研究支援センター

9 その他

研究成果発表会翌日（12月8日(火)）に、バスをチャーターしてICTによる獣害防除コンソーシアム主催の現地検討会を別途開催します。（先着25名）

名古屋駅 8:30集合・出発（集合場所は別途案内）

現地（三重県伊賀市阿波地区市民センター） 10:30到着

(1) 阿波地区市民センターで現地の概要紹介

(2) 現地にて、クラウドまるみえホカクン、新型おりべえ、とめざし機器の紹介

12:00昼食 農村レストラン「あわてんぼう」（実証で捕獲したシカ肉を使った料理など）

13:00出発

名古屋駅 15:00到着

10 問い合わせ先

（全体について）

東海農政局生産部生産技術環境課 澤田 TEL 052-746-1313

（参加申込み及び現地検討会について）

三重県農業研究所地域連携研究課 山端、鬼頭

TEL 0598-42-6356 E-mail nougi@pref.mie.jp